

主担当部：健康福祉部

（現状と課題）

依然として低下を続けている合計特殊出生率は、人口維持に必要な数値を大きく下回り、人口も減少局面に入ったと言われています。

進行する少子化に歯止めをかけるために、第2次ベビーブーム世代が子育てを始める時期にあるここ数年間に速やかな対応が求められており、県民が安心して、子どもを生み育てられると実感でき、夢や喜びをもてる社会の実現に向けた、子育てサービスの充実や子育てを支えあう地域社会づくりが課題となっています。

（重点事業のねらい）

保育ニーズが多様化する中、全国的に見て実施率が低位にある特別保育および放課後児童対策について、取組の促進をはかるため、市町の取組の拡充に向けた支援を行うとともに、地域のニーズに対応した多様な子育て支援の取組に対し支援を行います。

また、子どもを生み育てることを望む人たちの希望ができるだけ実現するよう、負担の軽減策や不妊対策を充実するなど、きめ細かな取組を行います。

（重点事業の取組目標）

目標項目	特別保育実施保育所数
------	------------

〔目標項目の説明〕

・延長、一時、休日保育の特別保育を行っている保育所数（健康福祉部子ども家庭室調べ）

（具体的な取組内容）

取組方向1：子育て支援サービスの充実に向けて

- （1）仕事と子育ての両立支援と子育て不安の解消に向けて、延長保育や一時保育などを拡充します。
- （2）地域における子どもたちの安全・安心な居場所を確保するために放課後児童対策の推進を支援します。
- （3）地域における子育ての相互援助組織であるファミリー・サポート・センターの設置と機能の強化を支援します。

取組方向2：経済的負担の緩和に向けて

- （1）子育て家庭を支援するため、保育サービス利用負担の軽減策を実施し、サービス

利用を促進します。

(2) 子どもを持つことを希望する家庭のさまざまな悩みに対する相談支援を行うとともに、不妊治療にかかる経済的負担の軽減をはかります。

県が他の主体に期待する取組

- 市町は、住民ニーズに応じた子育て支援に取り組みます。
- NPO、企業、関係者による多様な子育て支援活動の展開が期待されます。

平成19年度 重点事業要求事業一覧

(単位：千円)

事業担当部名	事業名	施策番号 (資料の頁)	施策名	平成19年度 事業費
生活部	ファミリー・サポート・センター設置促進事業費	212 (p. 18)	職業能力の開発と勤労者生活の支援	18,363
健康福祉部	次世代育成支援特別保育推進事業補助金	332 (p. 58)	子育て環境の整備	128,757
健康福祉部	放課後児童対策事業費補助金	332 (p. 58)	子育て環境の整備	485,121
健康福祉部	3人目みえ応援プログラム事業費	332 (p. 58)	子育て環境の整備	9,986
健康福祉部	不妊相談・治療支援事業費	332 (p. 58)	子育て環境の整備	124,705
教育委員会	放課後子ども教室推進事業費	121 (p. 5)	生涯学習の推進	84,912
(事業計)				851,844